

2013年度 決算説明資料



CNC立形複合研削盤
Vertical Mate35

株式会社 太陽工機

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

決算概要

損益計算書 (P/L)

受注の伸び悩みを受け減収するも、黒字維持。
繰越欠損金は2013年度に解消し、税負担が正常化。

(百万円)	2012年度 通期	2013年度 通期	
	実績	実績	対前年比
売上高	5,663	4,461	▲ 21.2 %
営業利益	689	226	▲ 67.1 %
(売上高比率)	12.2%	5.1%	▲ 7.1 point
経常利益	649	188	▲ 71.0 %
(売上高比率)	11.5%	4.2%	▲ 7.3 point
税引前利益	641	188	▲ 70.6 %
当期利益	768	80	▲ 89.6 %

貸借対照表 (B/S)

売上が第4四半期に集中し、売掛金が増加。
来期の生産準備のため、一時的に短期借入金にて資金を調達。

(百万円)	2012年度	2013年度		(百万円)	2012年度	2013年度	
	3月31日実績	3月31日実績	増減		3月31日実績	3月31日実績	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	2,367	2,399	32	流動負債	485	461	▲ 24
現金及び預金	296	107	▲ 189	買掛金	155	152	▲ 3
売掛金	1,000	1,187	187	短期借入金	0	60	60
棚卸資産	901	990	89	未払金	63	55	
前払費用	7	15	8	未払費用	45	46	1
繰延税金資産	160	79	▲ 81	製品保証引当金	45	38	▲ 7
その他流動資産	1	19	18	役員賞与引当金	18	21	3
固定資産	1,339	1,277	▲ 62	その他流動負債	157	86	▲ 71
建物	793	746	▲ 47	固定負債	815	753	▲ 62
土地	354	354	0	リース債務	768	711	▲ 57
その他有形固定資産	142	120	▲ 22	その他固定負債	47	42	▲ 5
無形固定資産	6	4	▲ 2	純資産	2,405	2,461	56
投資その他資産	42	51	9	株主資本	2,390	2,450	60
				新株予約権	15	11	▲ 4
資産合計	3,706	3,677	▲ 29	負債純資産合計	3,706	3,677	▲ 29

売上高原価率・販売管理費率・株主資本比率

ロット生産及び生産の平準化により、原価率は70%を維持。
SVG、Vertical Mateシリーズ等の新製品の開発に注力し、
研究開発費が増加⇒販売管理費が増加

	2011年度 通期	2012年度 中間期	2012年度 通期	2013年度 中間期	2013年度 通期
売上高原価率 (下段は売上原価： 百万円)	70.0% 3,995	71.2% 1,992	69.7% 3,948	70.8% 1,452	70.4% 3,142
販売管理費率 (下段は販売管理費： 百万円)	18.2% 1,041	17.7% 495	18.1% 1,025	26.8% 550	24.5% 1,092
株主資本比率 (下段は株主資本： 百万円)	42.7% 1,634	47.1% 1,870	64.5% 2,390	65.1% 2,377	66.6% 2,450

回転期間

	2012年度	2013年度	
	通期	通期	増減
売上債権回転期間	2.12	3.19	1.07 ヶ月
棚卸資産回転期間	1.91	2.66	0.75 ヶ月
仕入債務回転期間	0.33	0.41	0.09 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	2.73	3.28	0.55 ヶ月
借入金回転期間	0.00	0.16	0.16 ヶ月

キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:百万円)	2011年度	2012年度	2012年度	2013年度	2013年度
	通期	第2四半期 (累計)	通期	第2四半期 (累計)	通期
営業活動によるCF	507	33	817	▲ 212	▲ 135
投資活動によるCF	▲ 23	▲ 18	▲ 27	▲ 17	▲ 34
財務活動によるCF	▲ 549	▲ 123	▲ 692	48	▲ 18
現金および同等物の増減額	▲ 65	▲ 108	98	▲ 180	▲ 188
現金および同等物の期首残高	263	197	197	296	296
現金および同等物の期末残高	197	89	296	115	107

受注高の推移

合計4,515百万円(前年比13.5%減)
期末受注残高1,941百万円(前年比53百万円増)

青線：3ヵ月移動平均

(千円)

1,000,000

800,000

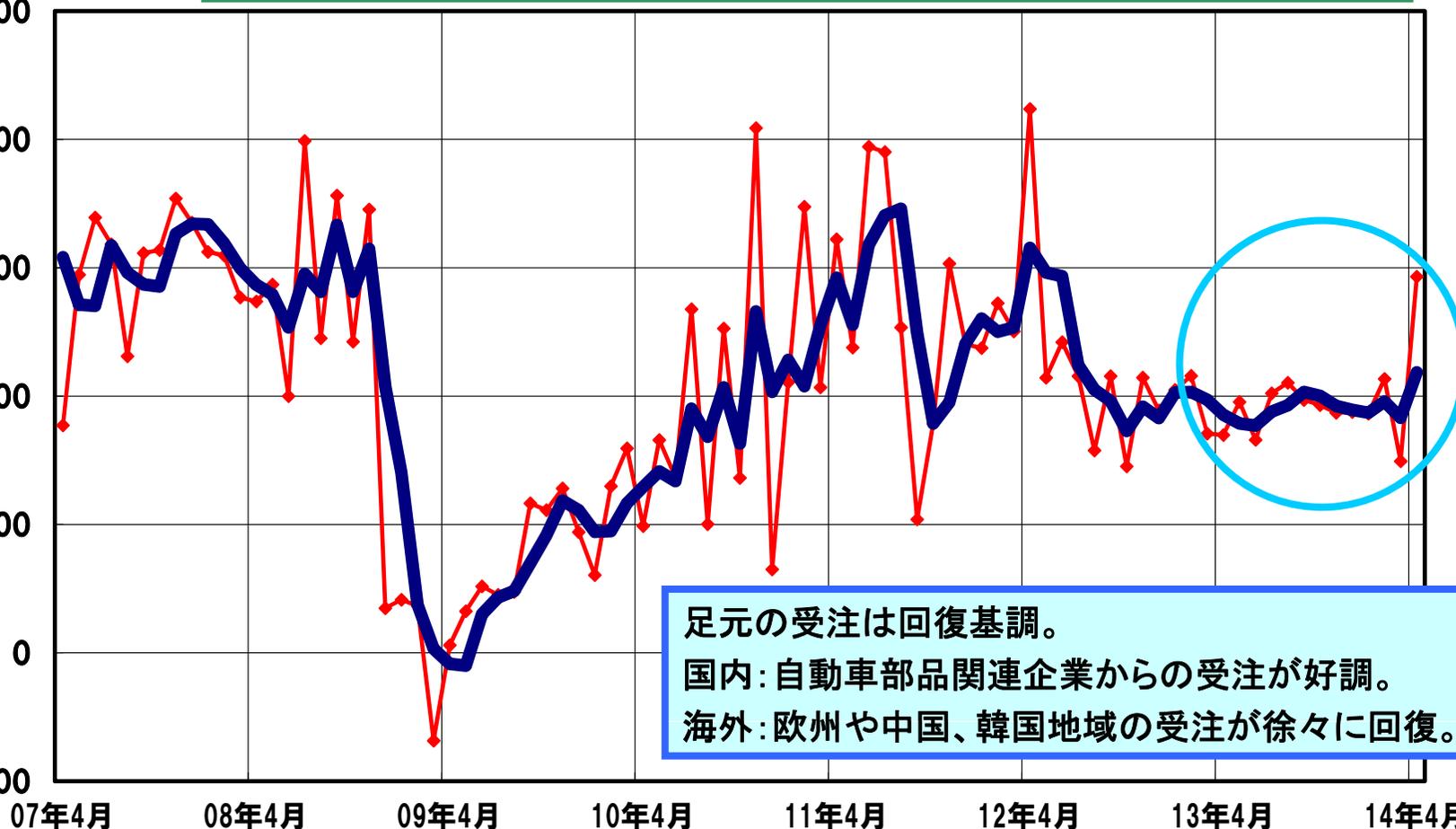
600,000

400,000

200,000

0

-200,000

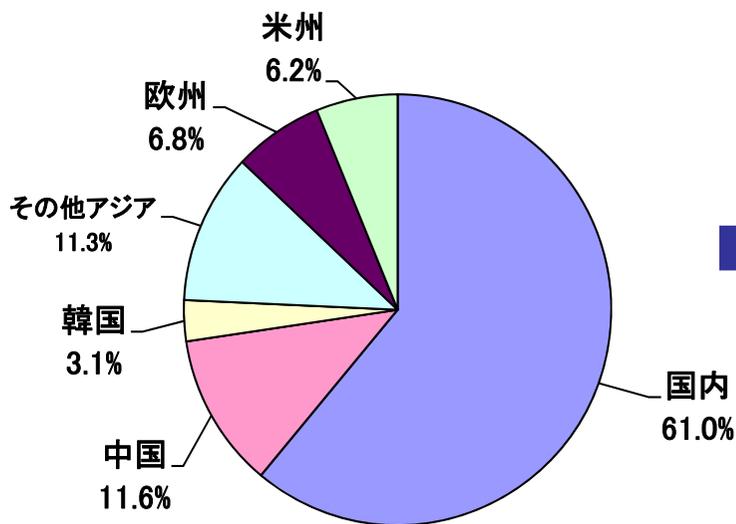


足元の受注は回復基調。
国内：自動車部品関連企業からの受注が好調。
海外：欧州や中国、韓国地域の受注が徐々に回復。

海外納入比率 (据付地・受注金額ベース)

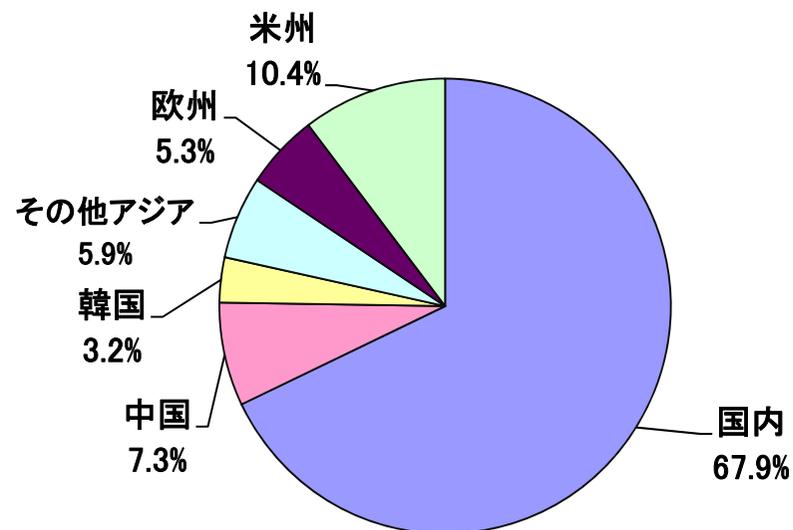
米州：国内自動車関連企業のメキシコ納入案件が大幅に増加。
 中国・その他アジア：国内企業の現地納入案件は小休止。
 現地ユーザから新規受注は好調。

2012年度 通期



海外39.0%

2013年度 通期



海外32.1%

2014年度業績予想・配当予想

現状の堅調な受注状況を勘案し、
2013年度実績より16.5%増加の売上を狙う。

(百万円)	2013年度	2014年度				
	通期 実績	上半期 計画	下半期 計画	計画	通期 増減	対前期比
売上高	4,461	2,350	2,850	5,200	739	16.5 %増
営業利益	226	160	365	525	299	131.6 %増
(売上高比率)	5.1%	6.8%	12.8%	10.1%	—	—
経常利益	188	140	350	490	302	160.0 %増
(売上高比率)	4.2%	6.0%	12.3%	9.4%	—	—
税引前利益	188	—	—	—	—	—
当期利益	80	80	215	295	215	268.0 %増

	第2四半期	通期	合計	配当性向
2012年度 実績	0円00銭	10円00銭	10円00銭	3.8%
2013年度 見込み	0円00銭	10円00銭	10円00銭	36.6%
2014年度 計画	0円00銭	10円00銭	10円00銭	9.9%

当社の取り組み

2013年度開発機種



CNC立形複合研削盤
SVG-3、SVG-3T
2013年10月発売
自動車や建設機械、電機機器業界の
小・中型部品の加工向け



CNC立形複合研削盤
Vertical Mate®シリーズの第3弾
Vertical Mate® 35
2013年11月発売
工作機械や産業機械、一般金属加工、
建設機械関連等、幅広い業種向け

2014年度開発予定

特定のワーク専用機
業界専用機

専用機： 当社製品の20%

お客様の要求仕様に
対応した高精度機



NVG II, NVGH シリーズ
IGV, SVG, IGH シリーズ

準カスタム機： 当社製品の63%



機能を絞った高精度加工
Vertical Mate シリーズ

汎用機： 当社製品の17%

2014年度 新規開発機種

自動車部品の加工を
ターゲットとした
高生産型立形研削盤

NVG IIシリーズの機能UPを
含めたモデルチェンジ

アメリカ駐在拠点の開設

2013年10月 アメリカ、シカゴに駐在拠点を開設。

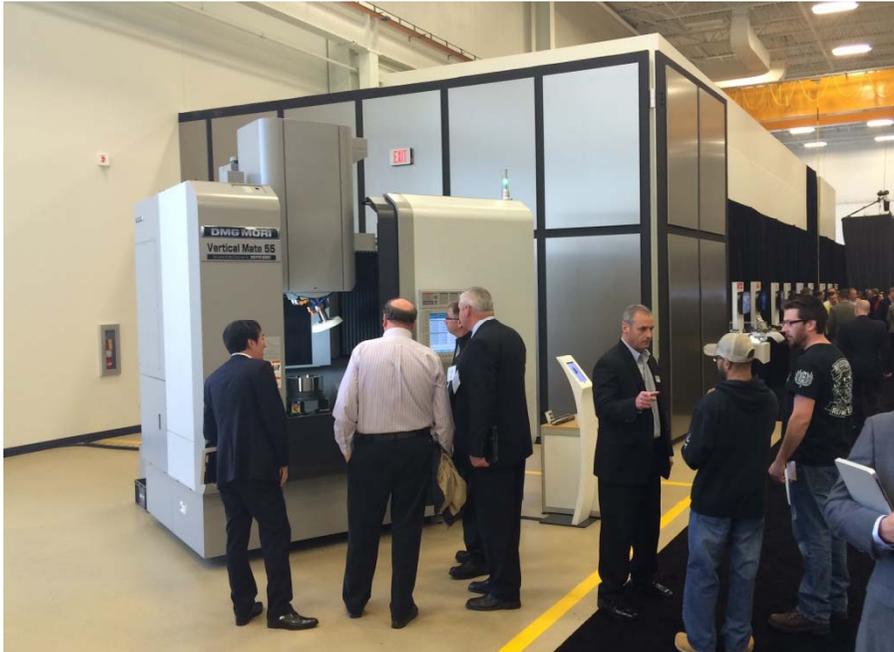


アメリカ駐在拠点 DMG MORI SEIKI U.S.A., Inc.(シカゴ)



- 世界最大手のメーカー(航空機エンジン、建設機械、ベアリング)への納入実績をもとに、大手企業をはじめ、中堅・中小企業といった幅広い企業からの需要獲得を狙う。
- 今後は、米州のサービス対応も可能にする。

DMG森精機 Innovation Days, Chicago 出展(5/5~5/9)

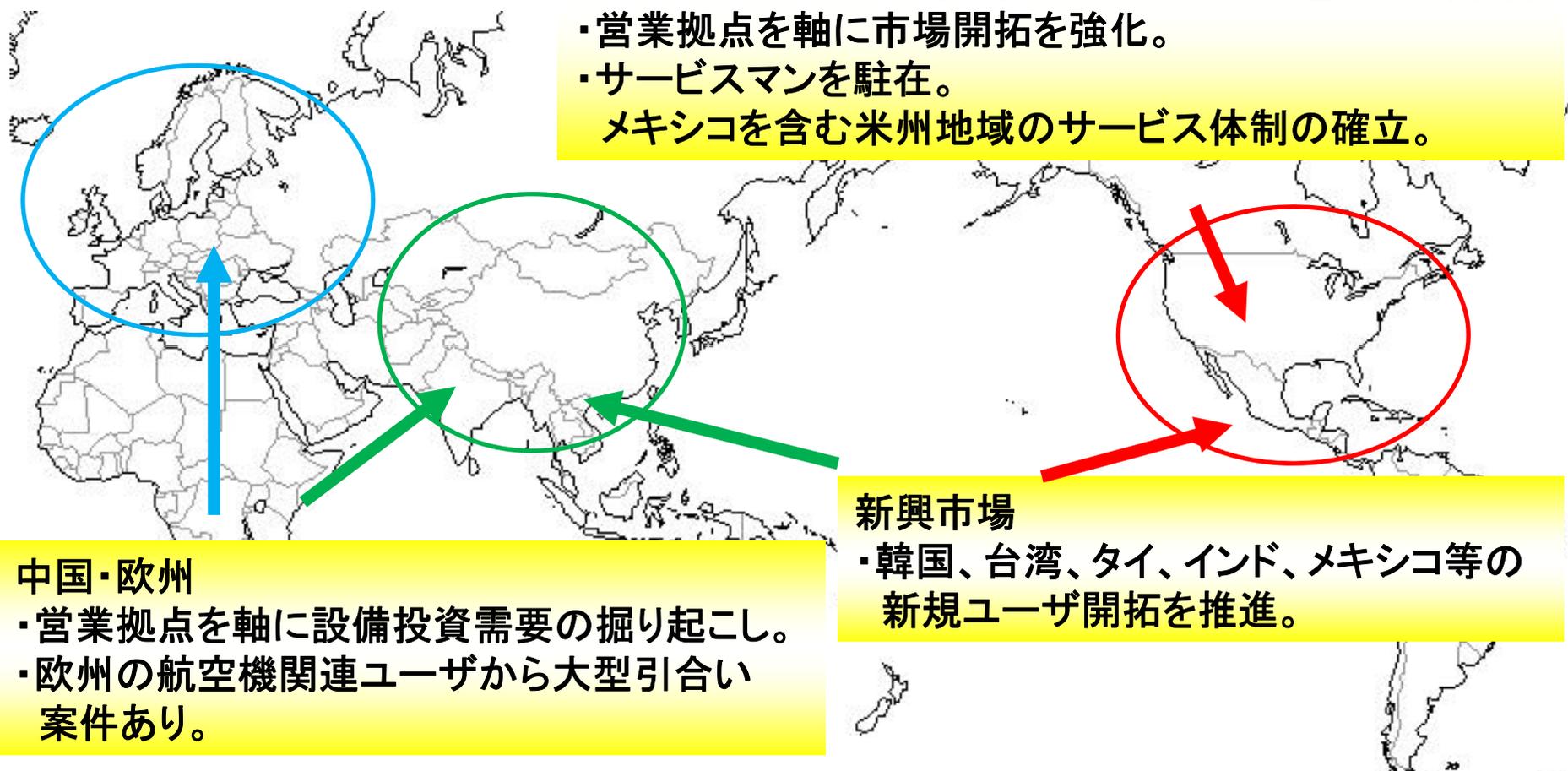


- 世界最大手のジェットエンジンメーカー、建設機械メーカーなどさまざまな業種のユーザが来場。
- アメリカ市場での拡販に向け、当社製品の技術力をアピールする絶好の場となった。

今後の展開

今後の展開(海外市場開拓)

■マーケット開拓 グローバル営業の強化



アメリカ

- ・世界最大手メーカへの納入実績(航空機エンジン、建設機械、ベアリング)をもとに展開。
- ・営業拠点を軸に市場開拓を強化。
- ・サービスマンを駐在。
メキシコを含む米州地域のサービス体制の確立。

中国・欧州

- ・営業拠点を軸に設備投資需要の掘り起こし。
- ・欧州の航空機関連ユーザから大型引合い案件あり。

新興市場

- ・韓国、台湾、タイ、インド、メキシコ等の新規ユーザ開拓を推進。

今後の展開(国内市場開拓)

■マーケット開拓

国内市場の掘り起こし



日本

- ・自動車部品業界への新製品投入による拡販。
- ・設備投資意欲の高い中小企業の掘り起こし。
- ・立形以外の研削盤の拡販。(横形・カム研・ネジ研)
- ・リピートユーザのサポート。
- ・営業所を軸に、新規ユーザの開拓を推進。
- ・展示会へ出展による拡販。

2014年度 展示会出展予定

DMG森精機 Innovation Days, Chicago	5/5～5/9
DMG森精機 イノベーションデー(伊賀)	5/21～5/24
太陽工機 プライベートショー(新潟)	7/10～7/11
JIMTOF 2014(東京)	10/30～11/4



昨年のプライベートショーの様子



メカトロテックジャパン2013の様子

お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>